

平成29年度 第1回大東市産業振興市民会議（報告）

1. 日時・場所 平成29年5月23日（火）午前9時30分～11時  
大東市役所 南別館会議室

2. 出欠

【出席】

会長	（株）山田製作所 代表取締役社長	山田 茂
副会長	NPO法人住まいみまもりたい 理事長	吉村 悦子
委員	大阪経済大学経営学部准教授	遠原 智文
	明星シンセティック（株） 代表取締役社長	上田 隆章
	新大阪食品産業（株） 代表取締役	北尻 正太
	大東市商業連合会 会長	角谷 昌寛
	大東商工会議所 常議員	伊泊 規子
	NPO法人大東夢づくりコミュニティ 代表理事	杉山 朋子
	小金屋食品株式会社 代表取締役	吉田 恵美子
	近畿経済産業局 地域経済部 地域開発室長	田口 一江

市 政策推進部長 北本 賢一  
事務局 産業振興課 森田次長・坂本上席主査・林

【欠席】

委員 大阪産業大学 教育研究推進センター長・デザイン工学部教授 濱崎 竜英

3. 委嘱状交付

市長より委嘱状を交付。欠席委員には後日送付。

4. 市長あいさつ

委員各位に向け、「一億総活躍社会」が叫ばれる中、誰もが活躍できる環境づくりを目指し、産業振興に向けた検討を行っていただけるよう、協力をお願いする。

5. 委員自己紹介

3名の新任委員を含めた新体制となったため、自己紹介とあいさつを各委員から行った。

6. 政策推進部長あいさつ

機構改革により、政策推進部産業振興課が所管課となった。引き続きご協力をお願いしたい。

## 7. 事務局紹介

3名体制で事務局を行う。

## 8. 議案

### (1) 会長、副会長専任

山田委員が会長として推薦され全員承認。会長が吉村委員を副会長に指名。

### (2) 大東市産業振興市民会議概要説明

会長より資料を基に次の事項を説明。

- ・大東市の附属機関の委員である。
- ・大東市地域産業振興条例の制定に向け検討を行い、条文を一から議論して平成23年に条例を制定した。条例制定後は、条例に基づき施策検討を行ってきた。
- ・各年度に基本方針等と具体的施策等を市長へ提言を行った。
- ・10年後の大東市の産業を検討する場としたい。

委員からの意見。

- ・大東市地域産業振興条例の制定は素晴らしいことと思う。条例を基礎として産業振興に取り組まないと軸がぶれる。

### (3) 今年度の主な事業及び施策検討

事務局より報告。資料を基に予算及び事業を説明。

- ・新規事業として、未来人材奨学金返済支援事業を実施。

委員からの意見。

- ・大東市の認知度を何とかして上げたい。
- ・野崎まいりは有名だが、それが大東市と知られていない。
- ・数値では景気はよくなっているが、中小企業はまだ実感を得られていない。
- ・高齢化社会を支えるには地元で若者が来て子供を産まないといけませんが、そもそも仕事がないと地元で帰りたくても帰れない。
- ・中小企業が現在一番困っていることは人材不足である。若年人口が減るのは分かっているため、今後は女性や障害者やお年寄りなど、多様な人材が働ける環境づくりが必要。
- ・インバウンド向けに民泊をする事業者とカギの管理会社やハウスクリーニング会社が連携したり、エネルギーシフトとして龍間の川などに地元企業が協力して小水力発電用の水車を作成したり、地元の困りごとを解決することで新しい仕事生まれる可能性がある。
- ・2.2人に1人が奨学金の受給者である現在、若者のニーズはあると思う。市が1/2補助し、企業が1/4補助するなどの取り組みを期待したい。

- 勤め始めて会社が奨学金の補助をしたのに、すぐに辞められると会社としては困るので、退職金の上乗せなど別の方法も考えたい。
- 若者に大東市に定着してもらうしくみづくりが必要。
- 一括りに若者といっても幅広いが、各年代に特化した居場所づくりをすることで滞在してもらえるようになるのではないか。
- インターネットですぐに情報が入る時代になったので、店の見た目を変えるなど単純なことで印象が変わることもある。
- 野崎参道商店街で大阪産業大学の商学部ゼミ生が商品開発などに関わっている。

#### 8. 次回開催について

7月26日（水）15：30～開催予定。